

助産婦雑誌 第51巻 総目次

1997年1 - 12月

(表題は、題名：筆者名、号数、開始ページ数)

特集

[1月号]助産婦たちの勉強会

- 「うぶ声会」―自立した助産婦となるため助産技術・助産診断能力を高めたい：小田切房子，1，9.
- 「産SUN勉強会」助産婦教員の集い―教えることが楽しくありたい：恵美須文枝，1，14.
- 「NAMA」新潟助産婦たちの勉強会―教育と臨床が一体となって研究に取り組む：佐山光子・湊孝子，1，18.
- 「自然分娩研究会」(東京)―自然なお産を実践し続けるために：神谷整子，1，22.
- 「横浜助産婦ネットワークの会“SANBA”」―施設も地域もなく連携をめざして：宮下美代子，1，27.
- 「助産婦と語る会」―主体性を一人ひとりがもつために刺激し合う会：加藤和子，1，31.
- 「みみずくの会」―地域助産婦と施設助産婦が学び合う場：藤井智子・神原祐美・岡居久代・木村泰恵・高橋律子，1，35.
- 「病院のお産をもっとよくする会」―産婦の主体性が発揮できるように助産婦の質を高める：福井トシ子，1，38.
- 「ゆりかご」―全員がイキイキ参加して，実践に生かせるように：多田野範子・田中敬子，1，44.
- 「日本助産婦会奈良県支部」―勤務助産婦の入会もふえて，地域社会のニーズにこたえる：高田昌代・岡橋千里・芝田和美・平岡とみ代，1，48.
- 「大阪府助産婦会助産婦業務検討委員会」―確かな技を先輩から後輩に：正木かよ，1，51.
- 「切迫流産妊婦の看護研究グループ」―妊婦の心理的危機を援助する実践的な研究活動：日隈ふみ子，1，54.
- 「お産研究会」(沖縄県)―安定期に入って，次の飛躍をめざす：小森香織，1，57.
- 「自然分娩推進友の会」「良い助産を考える会」―勉強会での交流は，実践にも大きなプラスとなって：鈴木美哉子，1，60.

[2月号]尿失禁ケア―女性のQOL改善のために

女性と尿失禁―QOL改善のために―日本コンチネン

ス協会，コンチネンスアドバイザーの活動：谷川由美子，2，9.

尿失禁ケア―助産婦のかかわり：高島美奈子・野原ヒロ子・平尾静江，2，14.

尿失禁―私の場合―当事者2人の声：川村美季・毛利友子(仮名)，2，23.

妊娠期・分娩後1か月時での尿失禁の現状調査より分かったこと：宮田久枝・山崎章恵・湯本敦子・飯沼博朗，2，30.

分娩と尿失禁：中田真木，2，34.

女性のための尿失禁外来の看護：大科宣子，2，41.

骨盤底筋体操の実際―腹圧性尿失禁に有効：[監修]谷川由美子，2，46.

助産婦と尿失禁治療：近藤厚生，2，50.

[3月号]STDの理解とケア

STDの現在の動向：小島弘敬，3，9.

周産期におけるSTD：荒堀憲二，3，16.

STDの治療法：松田静治，3，22.

STDとインフォームドコンセント：武田敏，3，27.

助産婦による指導の実際：佐藤朱美，3，32.

効果的な保健指導：北村邦夫，3，39.

微妙な問題をもつ性に関わるカウンセリングで大切なこと：金子和子，3，45.

STDの電話相談：番内和枝，3，50.

[4月号]異常分娩をめぐる最新マネージメント

証拠に基づく医学―主にFHRモニタリングの読みとり，フィータル・ディストレスをめぐる：武久徹，4，10.

妊娠期のルーチン検査(I)―B群レンサ球菌(GBS)：村田雄二，4，17.

妊娠期のルーチン検査(II)HIV，HCV，クラミジア：村田雄二，4，24.

肩甲難産のマネージメント：村田雄二，4，28.

骨盤位分娩のマネージメント：リチャード・ポール，4，31.

羊水混濁のマネージメント：リチャード・ポール，4，37.

新生児の蘇生：矢沢珪二郎，4，44.

[5月号]助産婦とパソコンネットワーク

パソコンが開く現代コミュニケーション論：前田秀雄，5，9.

小児医療の現場から発信するインターネットー狙いと見えてきたこと：梶田光春，5，13.

助産婦とマルチメディア：佐山光子・湊孝子・佐藤悦，5，19.

ようこそ「産婆の井戸端会議」へ！ーパソコン通信助産婦ネットワーク：三宅はつえ，5，25.

パソコン通信でホームパーティを開設，子育て相談にのる：奥田朱美，5，29.

[座談会]パソコン通信で「JIMON ネット」やっています：中根直子・中沢裕里・赤山美智代・田口眞弓，5，35.

[座談会]妊産婦に向けた，企業のインターネットホームページ：佐藤雄次・山本創・石井伸明・(司会)戸田律子，5，41.

グローバルなマルチメディアには「地域でできる子育て」を支援してほしい：野口美智子，5，47.

私のインターネット活用記：戸田律子，5，52.

夫婦でチャット：インターネットって助産婦に役立つの？：片岡弥恵子・片岡郁夫，5，58.

[6月号]先駆的産科ケア活動

「アクティブ・パースはどこでもできる」の心意気一大和高田市立病院のケアの実践：河合蘭，6，9.

ルチンワークの見直しから，フリースタイル分娩の取り組みまでーPL 病院のケアの実践：上野麻紀・寺前光子・藤原直美・吉田綾子・河野光子・山本恵美子・北村幸太郎，6，14.

新病棟建設に伴い，多くの新しいケアにチャレンジャー：済生会宇都宮病院のケアの実践：池田富士子，6，21.

早くから取り組んだ産婦中心ケア，更なる充実をめざすー更生病院産科病棟のケアの実践：牧野克子・鈴木久美子，6，27.

マタニティ・ヨガから主体的な出産の援助に開眼ー宮上クリニックのケアの実践：志村久江，6，30.

妊産婦中心のケア改善に取り組み，間もなく病院内助産所開設ーまつしま産婦人科小児科病院のケアの実践：小竹久美子，6，36.

母と子主体の自然出産への取り組みー正木産婦人科のケアの実践：市川きみえ，6，41.

妊娠・出産・育児は家族のもの，家族中心ケアを徹底ー月寒グロリアクリニックのケアの実践：清野喜久美，6，46.

母子同室制への取り組みからスタート，一歩ずつの前進ー奈良社会保険病院のケアの実践：中島操子・藤田久子，6，51.

地域の助産婦をオープンシステムでバックアップー足立病院のケアの実践：堀口君子・左古かず子・中嶋文子・高橋律子：6，56.

[7月号]妊婦の体重コントロール，どう考える

[座談会]私たちは「体重コントロール」をこう考えるー不安だけは与えないように：(司会)福井トシ子・神谷整子・井上裕美・田島恵子，7，9.

強い動機づけが一番，必要なものを必要だけ食べる指導を：中村幸夫・笹小夜子・若松隆子・佐久間修，7，15.

妊婦のエネルギー消費と摂取：田中泰博，7，19.

糖尿病妊婦の体重コントロール：佐中真由実，7，24.

必要な摂取カロリーは理想体重×30 kcal：友田昭二，7，29.

食べたら動くこと，妊婦の体重管理における私の支援法：山田節子，7，37.

妊婦さん15人に聞きました：市川実紀，7，41.

妊婦に繰り返し体重測定は必要か：エレン・トーランス，7，46.

[8月号]助産診断の実際ー診断名確立に向けて

[対談]助産診断の課題ー看護診断からみると：青木康子・藤村龍子，8，9.

助産診断の実際と「診断類型」改善の検討：東京都及び近県助産婦教育機関教務主任会，8，18.

分娩期助産診断の実践化に向けての一考察ー学生の行った助産診断課程の検証から：鳥越郁代・嶋田紀膺子，8，40.

妊婦への助産診断の実際(試論)：佐藤珠美・竹ノ上ケイ子，8，49.

[9月号]産痛の解明とケア

産痛の解明とケアの重要性：我部山キヨ子，9，9.

β-エンドルフィン：田中裕之，9，17.

分娩期に起こる産婦の眠気ー助産学的視点から考える：菅沼ひろ子，9，21.

私の産痛体験：尾崎江梨珂，9，28.

3人のお母さんに聞く，産痛とケア体験：中沢裕里，9，32.

助産ケアに生かす産痛緩和法：島田三恵子，9，36.

長い陣痛の効果的な過ごし方ーあるお母さんの手紙から：村山輝子，9，40.

痛みを逃す分娩体位：鈴木美哉子，9，45.

自然療法でお産を楽にするーお灸，アロマテラピー，イメージリー：河合蘭，9，50.

ソフロロジー法の効果：岡村博行，9，56.

麻酔分娩産婦の看護：関島英子，9，60.

麻酔分娩の方法：谷昭博，9，64.

[10月号]変わります，変えます，地域母子保健(上)

新たな地域母子保健の時代を迎えて：今関節子，10，9.

群馬県における助産婦訪問指導への取り組みー母子保健事業の市町村移譲への対応：山田順一，10，15.

群馬県助産婦会，県の支援を受けて母子訪問に組織対

応：鈴木せい子，10，20.

[座談会]母子訪問の実際―「群馬県助産婦会」のわたしたちの活動を報告します：鈴木せい子・秋山三重子・佐藤のり子・真下由利子・大澤伸江，10，28.
沖縄県の新生児訪問指導料金は正への取り組み：小森香織，10，35.

先行市町村の助産婦活動

- ① 新潟市/妊産婦健康診査から思春期・中高年セミナーまで充実の事業を提供：小林千津子・浅間淳子・斎藤京子・北村ハル・柿村洋子・平石則子，10，39
- ② 浦和市/順調なスタート．もっと市民にPRを：嶋崎美貴子，10，45.
- ③ 川崎市/各保健所に助産婦配置．45年間の母子保健活動：柿沼由美子，10，50.
- ④ 山形県八幡町/年々，増してくる確実な手ごたえ！：後藤敬子，10，54.
- ⑤ 横浜市/一人ひとりの妊産婦に密接な母子保健活動：今井みどり，10，60.
- ⑥ 福岡県/21保健所に助産婦配置．実績を残す：杉本聖子・森いくみ，10，66.

[11月号]変わります．変えます．地域母子保健(下)

「市」からの委託による母子訪問活動

訪問看護室を開設し位置づけました：米田ますみ・港万里子，11，9.

職能組織や病院の地域における役割―市内唯一の公的病院として：道辻真由美，11，15.

高知市の行政と助産婦の連携プレー開始：岸田佐智・川島和己・千光士義幸・福田春美・森下安子・森本幸子，11，20.

再建なった松山助産所を本拠地に地域へ：武智恵子・矢野良子・杉本千沙枝・岡田恵美子・神野久子・藤田倫子，11，26.

オープンシステムでケアの質を高める

賛育会病院の開業助産婦支援システム：相澤智恵子・田口友子・島美奈子・川越厚，11，31.

足立病院のオープンシステム．さまざまなケアの事例：堀口君子，11，37.

市立芦屋病院は助産院の後方支援病院となり得るか：亀田隆，11，41.

家庭訪問に強くなる―訪問相談技術と健康診査技術能力を高めよう：出川明子・織田智子・嶋村克子，11，44.

「周産期医療対策事業」の概要：厚生省児童家庭局母子保健課，11，50.

垂井町の行政助産婦になるまでのプロセスとこれからへの希望：多賀晴美，11，56.

地域母子保健活動における助産婦と保健婦(士)の連携―日本看護協会の動き：猫田泰敏，11，61

[12月号]「ハイリスク」にも強くなる

助産婦がハイリスク妊産婦・児をケアするというこ
と：松岡恵，12，9.

ハイリスクに強くなるための横浜市の現任教育プログラム―助産婦を対象とした「周産期看護講習会」を実施して：遠藤圭子，12，14.

NICUに助産婦がいるメリット：佐藤由紀江・小島美幸・砥石和子・福井トシ子，12，20.

NICUにおけるファミリーケア―母親の体験から看護を考える：木下千鶴，12，26

妊娠してわかった血小板疾患―助産婦さんの一言が気づき：比留間あかね，12，33

子どもは在宅酸素療法を―担当助産婦さんが支えてくれた：富田康子，12，37.

アメリカのナースミッドワيفの分娩ケア：神崎徹，12，41.

特別記事

[新春対談]輝け助産婦さん―生きる原点にかかわる：石田勝正・三宅馨，1，65.

大震災から2年．よみがえった毛利助産院―1996年10月20日・27日神戸・毛利助産院竣工披露宴レポート：河合蘭，2，57.

新時代．求められるマタニティケア―「いいお産の日」から見える新しい子産み子育てと医療：戸田律子，3，54.

「いいお産の日 in 96」年々，多くの人をまきこんで―今年是全国7か所で開催

(大阪)熱気が溢れた「お産トーク」と「公開分娩室」：山本令子，3，61.

(名古屋)会場には参加者の「体験欲」と「知識欲」がうずまいて：兼松弘子，3，63.

(広島)それぞれの思いが繋がった1日：中田美恵，3，64.

(福岡)「いこうよ！胎内体験ツアー」報告：堀尚子，3，65.

(仙台)よりよい出産と母乳育児環境を求める人々からあたたかなエールが：金子真由美，3，66.

(秋田)みんなで作り上げたイベント，結果は上出来！！：能勢智子，3，67.

(東京)「いいお産の日」の裾野は確実に広がって：宮崎雅子，3，68.

お母さんたちの運動から誕生した助産院「パースあおば」：藤原美幸，4，51.

ドロシア・ラングさん，ドリス・ヘアさんインタビュー
子どもたちの危機を救えるのは助産婦である―産科ケア時の薬剤の影響を真剣に考えよう：聞き手/本誌，6，64.

浜松のお母さんたちから，熱い発信―お産フォーラム'97「聴こう，話そう，私のお産」開催：長谷美智代，6，70.

[インタビュー]厚生省看護課助産婦係長に着任した新野由子さんにきくー今まで感じてきたもどかしさを行政で追究していきたい：(聞き手/本誌), 7, 58.

[インタビュー]助産婦と倫理ーなぜ善いことをするのかを解きあかすトンプソン教授にきく：(聞き手/本誌, 構成/戸田律子), 7, 63.

[インタビュー]日母常務理事佐々木繁氏にきくー一日母産科看護学院基準改正の目的は看護スタッフのレベルアップ：(聞き手/本誌), 8, 55.

第1回「国境なき出産会議」参加リポート：要田美津子・大社由美, 10, 80.

[インタビュー]キーワードは自立と自律ー変化し続けるニュージーランドの助産婦：カレン・ギリランド氏に聞く(聞き手/本誌), 11, 67.

最古の助産婦教育機関 大阪大学医学部附属助産婦学校の閉校ー医学部保健学科へ助産婦教育を継続：田間恵實子・田中春美・増 洋, 11, 73.

助産婦さんをもっと活用したいー厚生省児童家庭局母子保健課小田清一新課長に聞く：聞き手/岡本喜代子・早乙女智子・神谷整子, 12, 45.

[インタビュー]実践から生まれる研究を使ってよりよい実践をーデボラ・コニアック・グリフィン UCLA 教授に聞く：聞き手/本誌, 12, 50.

特別寄稿

あゆみ助産院 10 周年を迎えてー助産婦生活 21 年 開業への道のりと開業後のあゆみ：左古かず子, 1, 73.

努責といきみ(下)ー2 段努責法のすすめ：橋本明, 1, 80.

麻酔科医が父親として自宅出産にかかわった日：田中裕之, 2, 63.

「助産婦のためのニューヨーク研修ツアー」報告ー衝撃を受けたニューヨークの助産婦のチャレンジ精神：浅見万里子, 2, 67.

学生の自主性が育つ「出産準備教育」実習の工夫：吉永靖子・坂本利子, 3, 72.

タイ国北部における母子とエイズ：大森絹子, 4, 58.

切迫流産妊婦の看護(上)ー「援助モデル」の確立に向けて：切迫流産妊婦の看護研究グループ(文責・日隈ふみ子), 5, 63.

分娩とリラクセーション：橋本明, 5, 71.

切迫流産妊婦の看護(下)ー「援助モデル」の確立に向けて：切迫流産妊婦の看護研究グループ, 6, 76.

日本小児科学会 100 周年を迎えてー子どもの健全育成は社会の要求：前川喜平, 7, 51.

助産婦卒後教育の必要性「助産婦卒後研修センター」を開設した医師の意見：根津八紘, 8, 61.

日本助産婦会山形県支部のボランティア活動：荒井眞智子・三澤寿美・景澤志津子, 9, 68.

真に総合的な性科学樹立に向けて。「日本性科学連合」

発足の意義：松本清一, 9, 73.

産む本人も立ち会う夫も持てる力を発揮できる場所で産みたい：入江 拓, 9, 79.

臍帯血幹細胞移植：加藤俊一, 10, 71.

ラマーズ法普及に全力を注いだ情熱の人ー尾島信夫先生を偲んで：朝比奈順子, 10, 76.

血小板と血液型不適合妊娠：中村幸夫, 11, 80.

母乳とダイオキシン：橋本武夫・本郷寛子, 12, 56.

「赤ちゃんにやさしい病院(BFH)」に選ばれてー母乳育児への道：杉田茂仁, 12, 61.

わが愛する動物たちー「ハローベビー」神戸市立王子動物園親子ストーリー連載にあたって：谷岡正之, 12, 66.

クローズ・アップ

地域に溶けこんで 10 周年。京都あゆみ助産院の左古かず子さんと助産婦の皆さん, 1, 1.

大震災から 2 年。再建なった毛利助産院の毛利種子さんと後継者の多恵子さん, 2, 1.

学生の伸びる力は無限。内容充実の「出産準備教育」を実習する国立大蔵病院助産婦学校の皆さん, 3, 1.

神奈川のお母さんと助産婦が一体となってバックアップ「パースあおば(山川助産院)」勤務の 3 人の助産婦, 4, 1.

パソコンで全国の助産婦をネットワーク。「産婆の井戸端会議」主宰者の三宅はつえさん, 5, 1.

そろって来日。日本の助産婦のニューヨークの友人/ドロシア・ラングさん, ドリス・ヘアさん, 6, 1.

厚生省看護課助産婦係長に着任した新野由子さん, 7, 1.

創立 70 周年を迎えた日本助産婦会。セカンドステージへ, 8, 1.

地域で相談サービス「ヘルシートーク」をボランティアで開催するー日本助産婦会山形県支部の皆さん, 9, 1.

母子訪問事業の契約を市町村とすすめる群馬県助産婦会会長：鈴木せい子さん, 10, 1.

オープンシステムで開業助産婦をバックアップ。賛育会病院の産科スタッフ, 11, 1.

「助産婦さん、行政にもっと関心を」。厚生省母子保健課長に就任された小田清一氏, 12, 1.

おニューな地球人：きくちさかえ

癒しの消えた部屋, 1, 4.

歓喜の訪れ, 2, 4.

産む女, 立ち合う男, 3, 4.

赤ちゃんの提案, 4, 4.

キャリア・ベビー, 5, 4.

かけがえのない命, 6, 4.

花さか赤ちゃん, 7, 4.

細胞の中の記憶, 8, 4.
お産巡礼, 9, 4.
からだの野性, 10, 4.
母は月の女神, 11, 4.
メビウスの輪のようにつながる命, 12, 4.

とらうべ

ともに考えよう産科医療: 雨森良彦, 1, 5.
次世代へ橋渡しをしたい: 和田恵子, 2, 5.
「ケア」のない産科施設がまだある: 敦賀陽子, 3, 5.
楽しく仲よく病院ボランティア活動: 奈須輝美, 4, 5.
ある披露宴にて: 荒井良, 5, 5.
育児休業の誤解: 小西正人, 6, 5.
助産所分娩に対する救急システム確立は組織の力で:
玉田太郎, 7, 5.
先生と呼ばないで: 松本信子, 8, 5.
専門職と一般人のあいだ: 徳江与志子, 9, 5.
人生は夢: 蒲島郁夫, 10, 5.
早産妊婦のケア経験から: 椎野泰明, 11, 5.
FIGO 大会 産婦人科医と助産婦のパートナーシップ
のセッションに参加して: 高橋克幸, 12, 5.

今月のニュース診断: 斎藤有紀子

安心という名の幻想—出生前診断とどうつき合うか,
1, 6.
患者は権勢症候群?, 2, 6.
日本初「精子バンク」の波紋, 3, 6.
受精卵遺伝子診断の臨床研究—これから議論されるべきこと, 4, 6.
「胎児条項」導入の是非をめぐって, 5, 6.
周産期の死別とケア, 6, 6.
疾患・施術別インフォームド・コンセントの現状, 7, 6.
性の自己決定と医療—性転換手術容認をめぐって, 8, 6.
多胎妊娠と減数手術, 9, 6.
臍帯血バンクでも登録者のプライバシーを保護しよう, 10, 6.
「強制的な不妊手術」をめぐって, 11, 6.
HIV 感染者の献血・人工授精をめぐって, 12, 6.

研究・調査・報告

パースプランの検討—出産経験者の分娩に関するニーズ調査結果から考える: 國分順子・入口紀子・徳永真理・原田陽子・渡辺直子・古田祐子, 2, 76.
BBT 測定を講義にとり入れて, 女性の健康管理について学ばせる: 西村正子・貞岡美伸, 4, 64.
母体の加齢と授乳との関連についての検討: 瀬田るり

子・山田裕子・登坂裕子・高橋弥生・伊藤真理子・川面耕子・安部巳奈・野村栄子・野辺祐代・斉藤和子・椎名郁子・椎名美博, 5, 78.
3 か月児をもつ父親の育児家事行動と母親の父親に対する期待との関連—育児家事観の観点から: 藤原千恵子・日隈ふみ子・石井京子, 6, 85.
妊娠・出産におけるイメージリーの効果: 澤野さおり, 7, 71.
入院中のハイリスク妊婦と夫への援助—健康的な家族機能を獲得するために: 山崎あけみ, 8, 80.
父親の育児に関する学習とその効果: 秋山輔美・板倉美子・江口桂子・岡本恵美・鎌田奈津・近藤三枝・下窪美香・尾方美智子・二宮恒夫, 11, 82.
望まない妊娠に関連する要因について—大阪市浪速区の病院での調査から: 上井稔子・中山栄純・佐藤千史, 12, 72.

トピックス

さようなら「お産の学校」講座—ラマーズ法普及とその果たした役割: きくちさかえ, 4, 70.
「助産婦ネット関西」の発足: 山本令子, 4, 72.
本誌の特集から, ビデオ『もっと自由な出産を—フリースタイル出産の介助』が完成, 7, 82.
新たな決意で迎えた日本助産婦会創立 70 周年: 岡本喜代子, 8, 70.
リプロダクティブ・ヘルス/ライツのわかりやすいパンフレットが完成, 9, 88.
「日本母乳の会」年々定着 第 6 回母乳育児シンポジウム: 永山美千子, 12, 78.
「性と健康を考える女性専門家の会」設立される, 12, 81.

読者談話室

産科診療所で週単位の看護リーダー制を取り入れたプラス面: 蔵本美代子, 4, 77.
一読者のつぶやき—出産をとおして思うこと: 鹿野恵美, 4, 78.
医師が立会わないのはサービスの低下か: ターナー節子, 11, 88.
岳人くん, おやすみ: 小川美津子, 12, 82.
呼び方よりも真の尊敬こそ: 下地富子, 12, 83.

りれ—随筆

娘からの贈り物: 熊澤万里子, 1, 86.
若き助産婦の腰痛における苦悩: 桑原紀子, 2, 84.
これが私の生きる道?: 結城真由美, 3, 84.
私の元気のもと, それは家族: 村山輝子, 4, 74.
自分らしく生きる—ハートを熱くする仕事をとおして: 鈴木知代, 5, 84.

仕事、楽しんでいますか？：江崎章子，6，92。
私らしく生きること：隅田真理子，7，78。
自分再発見の日々：笠岡直子，8，86。
人生のターニングポイント：唐沢 泉，9，86。
「頑張る」からの脱出：高島早苗，10，90。
一本の幹から枝葉を伸ばすということ：大久保ちづ
子，11，90。
「お産」好きやわー：加藤正枝，12，84。

Medical Scope：島田信宏

VBAC(ブイバック)，1，90。
細菌性膣炎(BV)，2，86。
妊娠と抗血小板抗体，3，86。
胎児性ファイブプロネクチンの早産予知検査法，4，80。
ヒトの「生理的早産」，5，86。
癌胎児性ファイブプロネクチンと分娩開始，および分娩
誘発について，6，95。
軽症の羊水塞栓症はあるのか？，7，81。
早剥の予知，8，89。
分娩中の子宮破裂についての最近の見聞録，9，91。

胎児の発育と母体の自己免疫，10，93。
全妊婦に対する超音波断層法のスクリーニング的検査
は周産期医療の予後改善をもたらしたか？：島田信
宏，11，93。
妊婦子宮頸管粘液中の顆粒球エラストラーゼ測定：島田
信宏，12，87。

私の分娩体験記

納得のいく出産はすべてに良い影響が：鹿島由美子，
8，73。

私と読書

『助産婦さんに聞きたいのちにやさしいお産』を読ん
で：松岡悦子，2，88。

書評/BOOKS

「児童虐待防止ハンドブック」：石村由利子，3，88。
現代の性がつかめる3冊の本，9，90。

より効果的に臨床英語が身につくこと、うけあい！

Let's Listen, Speak and Learn 臨床看護英語 第3版

新刊

仁木久恵・助川尚子
ナンシー シャーツ-ホプコ

実際に「使える英語表現」が身につけられる，と好評の
英語テキストを大幅に改訂。各章をLET'S LISTEN，
LET'S SPEAK，LET'S LEARNの3部に分けて構成
し，さらに新コラムNursing Tipを設けて看護に関連
する表現や語彙も満載。楽しいイラストの増加で，より
臨床場面がイメージしやすくなった。

- A5 頁92 図26 写真9 1997
定価(本体1,400円+税) 円400 [ISBN4-260-34276-2]
- CD版 1997
定価(本体2,800円+税) 円400 [ISBN4-260-19784-3]



医学書院

113-91 東京・文京・本郷5-24-3
<http://www.igaku-shoin.co.jp>

03-3817-5657 (お客様担当)
03-3817-5650 (書店様担当)

振替 00170-9-96693